

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper

きょううさいだより



佐世保共済病院写真コンテスト作品優秀賞 小田博文氏(朝明けの佐世保港)

理 念

博愛の精神
人の和
自己研鑽

目 標

- 私達は、地域のみなさんのニーズに応え、信頼してもらえる医療を目指します。
- 私達は、他の医療機関と共に、地域のみなさんの診療と健康増進に努めます。
- 私達は、新しい医学、医療の知識と情報を取り入れ、常に自己啓発に努めます。
- 私達は、それぞれが自己的責任を自覚し、安全な診療を目指します。
- 私達は、病める人の苦しみや喜びを分かち合える心をもって診療に努めます。

I N D E X

● 佐世保共済病院で始まった地域連携小児休日・夜間診療／スコットランドを訪ねて	p.1
● 医療安全管理研修会報告／6階南病棟紹介	p.2
● 診療活動の現況～放射線科～	p.3
● 地域連携小児休日・夜間診療医師の紹介／新採用医師の紹介	p.5
● 職場紹介～駐車場管理～／年末年始の当直体制／編集後記	p.6
● 外来診療担当表	p.7

ごあいさつ

院長 福井仁士

佐世保共済病院で始まった地域連携小児休日・夜間診療



新聞などでたびたび報道されてきましたが、全国で小児科医の数が減少し、小児の救急診療に支障をきたしている地域が少なくありません。当院でも、常勤の小児科医の数は十分ではありません。小児は症状の進行が速いことが多く、遅れをとらない対応が望まれます。

厚生労働省は、地域の小児科医有志の協力により、地域の小児休日・夜間診療を支援する施策を提案しました。この方針にしたがって、当院では本年11月より、地元の小児科専門医有志に協力をしていただき、夜間・休日の診療を当院小児科医と連携した体制で行うことになりました。具体的には、土曜日および有志の先生方が指定する平日(ともに祝日は除く)の19時から23時まで、小児1次救急の患者さんを有志の先生方により診療していただき、当院にかかりつけの慢性疾患や他院からの紹介患者さんを当院常勤小児科医が対応いたします。有志の小児科医のご協力により、当院の小児診療の効率化と質の向上につながるものと期待しております。

今回、佐世保市で始まった地域連携小児休日・夜間診療事業は、まだ全国でも極めて少ない地域しか行われていません。この方式により、佐世保市および近在地域の小児診療がより充実することになると思います。ご協力いただいている長崎県県北地区小児科医有志の会の方々(代表 志方出先生、各先生の顔写真を後のページに掲載します)に感謝致します。

スコットランドを訪ねて

副院長 木寺 義郎

いま婦人科領域で重要な研究テーマとして、卵巣癌と子宮体癌の化学療法がありますが、Up to Date の情報を直接肌で感じたく、イギリスのエジンバラで行われた世界婦人科癌学会に出席しました。会期は10月3日より7日までの5日間で、会場は立錐の余地もない状態で関心の高さを窺わせました。私は卵巣の扁平上皮癌をポスターセッションで発表しましたが、ポスター会場も参加者で溢れており、1000題近く演題数の割には会場が手狭でした。



写真-1

ところでエジンバラは緯度が北海道より遙かに高く、既に日本の冬の気候であり、晴天と霧雨が交錯する特有の天候でした。かつてのスコットランドの首都であったこの街は、エジンバラ城を中心としたオールドタウンと18世紀初頭にできたニュータウンから成り、当時の建築物が今も役所として使用されています。古色蒼然とした石造りの建物や街路に屹立した彫像などに囲まれると、まるで中世にタイムスリップしたようでした【写真1】。車で2時間ほど

のセントアンドリューズゴルフ場のオールドコースも訪れましたが、ビッグなトーナメントを2日後に控えていたにもかかわらず、フェアウェイを自由に散策できたのには驚きました【写真2】。



写真-2 左端が木寺副院長

ヒースの丘、自然美を誇る湖水地方、点在する古城などの風景で癒されるとともに、当科の癌の治療方針の正当性に確信を抱くことができたことが大きな収穫でした。

医療安全管理研修会報告

医療安全管理委員長 山川 勇造

平成16年10月18日(月) 18:45より

「医療事故の予防と対応」 講師:横浜市立大学医学部付属病院長 原 正道 先生



去る10月18日、横浜市立大学病院長 原正道先生をお招きし「医療事故の予防と対応」と題してご講演いただきました。病院内外から220名を超える聴講があり、会場の大講堂は立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。

講演は、1)医療事故とは、2)医療事故の対応、3)医療訴訟、4)医療事故の事例検討、5)安全管理・事故予防には何が必要か、6)事故を起こした職員のケアはどうするか等についての具体的なお話でした。

全国の病院のうち、大学病院は1%の病床しかないように医療事故の15%が発生し、その60%が過誤によるものであったとのことで、教育病院の性格も有する当院も今後、心すべきと感じられました。医療事故をミスや、またアクシデントと呼ぶのは適切ではなく「エラー」という表現がよい、事故を起こした時は、患者さんに①真摯に②迅速に対応することが最も大切であり、そもそも医療は合法的な「障害行為である」ことの意味を全ての医療者がよく考えてていなければいけないなどのお話がありました。最後に医療を安全に行うには、患者の医療への参加と医療現場での指示の確認の徹底が最も大切であると強調されました。

病棟紹介 ~6階南病棟~

6階南病棟長 森山 栄子

6階南病棟は、内科34床・眼科5床・特別室3床の混合病棟です。心筋梗塞や白内障の手術など急性期疾患の患者さん、脳梗塞後遺症など慢性期疾患の患者さん、終末期の患者さんなどを受け入れている病棟です。スタッフは看護師17名、看護助手4名で全員笑顔を絶やさず日々の看護に力を注いでいます。私達看護師は、次々に起こる新しい出来事に追われていて、それに追いつくことで精一杯です。そのような中、カンファレンスなどで「あの時、実はこうだからこうすればよかったね」といったフィードバックする時間を作ることで、その一つひとつの経験が看護の知識となっていくように思います。

「呼吸器疾患だから」、「糖尿病だから」といった先入観で患者さんを見ていると見逃してしまうことがたくさんあります。患者さんを疾患から見るのではなく、人間として見ていくことで、さまざまな疾患の関連性が見えてくればと思っています。このような環境の中、患者さんのために着実に前を向いて歩けるよう、また交わした言葉や患者さんの様子から、その方が何を望んでいるかを感じられるスタッフになれるよう、これからも全員で努力していきたいと思います。



前列右端が森山病棟長



はじめに

前任者の大熊先生の退職を承け、2003年10月より勤務しております。本年11月より当院に約3年間勤務した有川先生が大学に戻り、新たに岩本良二先生が赴任となりました。外科で2年間研修を行った後に、放射線科に入局された5年目の先生です。これで放射線科の平均年齢は一層若くなりましたが、今後とも院外・院内を問わず、御指導をして頂ければ幸いに存じます。

現在、私達が行っている診療活動を2003年度の検査件数とあわせ御紹介致します。毎日の外来、病棟診療(10床)と諸検査を行っています。検査日に関しては別表を御参照下さい。また、11月より外来日が変更になっています。

【超音波検査】

放射線科・耳鼻科・小児科・皮膚科・歯科・検診・脳ドックの頸動脈エコーを行っています。

【CT】

MDCT(多列検出器型 CT)を導入し、撮影時間の短縮とともに、より詳細な画像を得られるようになりました。2003年度のCT検査数は7312件で、CTの需要は増加傾向にあります。

CT依頼の紹介に関しては原則、当日に対応しています。3D-CTや冠状／矢状断等の御要望にも対処できますので必要な際にはお申しつけ下さい。

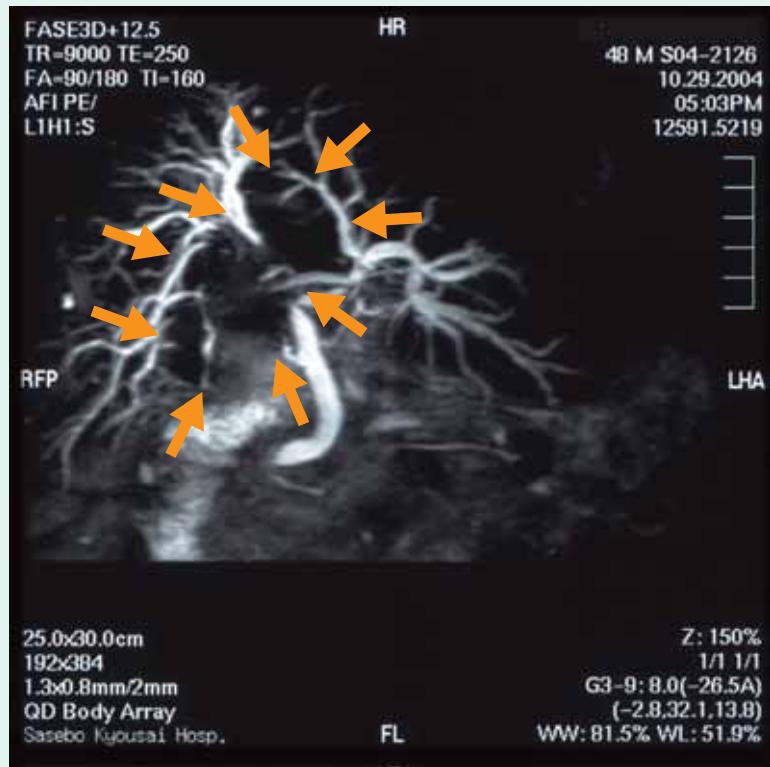
【MRI】

1.5TのMRIが導入されており、2003年度の検査件数は2443件でした。以前から紹介医の先生方より指摘されていましたMRCP画像も、中央放射線検査科の協力のもとで画質が向上してきています。

【消化管検査】

上・下部内視鏡検査、ポリペクトミー、早期癌及び前癌病変の内視鏡下特殊治療、上部・下部消化管造影、食道ステントや胃瘻造設を行っています。2003年度の消化管検査・治療の件数は2210件でした。全国的な傾向と同様に、当院でも大腸癌の症例が増加しています。

MRIによる胆管・膵管イメージ



液体を強調して作製する特殊撮影。
腫瘍の分布(矢印部分)が明瞭に描出されています。

【R I :核医学検査】

骨、ガリウム、甲状腺・副甲状腺、腎・副腎、腫瘍(タリウム)、出血、脳血流シンチを行っており、2003年度は615件でした。

【血管造影・IVR】

術前精査や診断目的の血管造影、肝癌の動脈塞栓術(TAE)、各種癌に対するリザーバー留置や動注療法、出血に対する塞栓術、IVポート作製を行っています。2003年度は219件でした。

血管造影におけるIVRとは、血管造影下に治療を行うもので、腫瘍を栄養する血管に薬剤を注入したり(動注療法)、この療法を外来でも行えるようなシステムを作製するリザーバー留置という手段や、外傷や喀血に対する止血術、肝癌の塞栓療法(TAE)などを行っています。

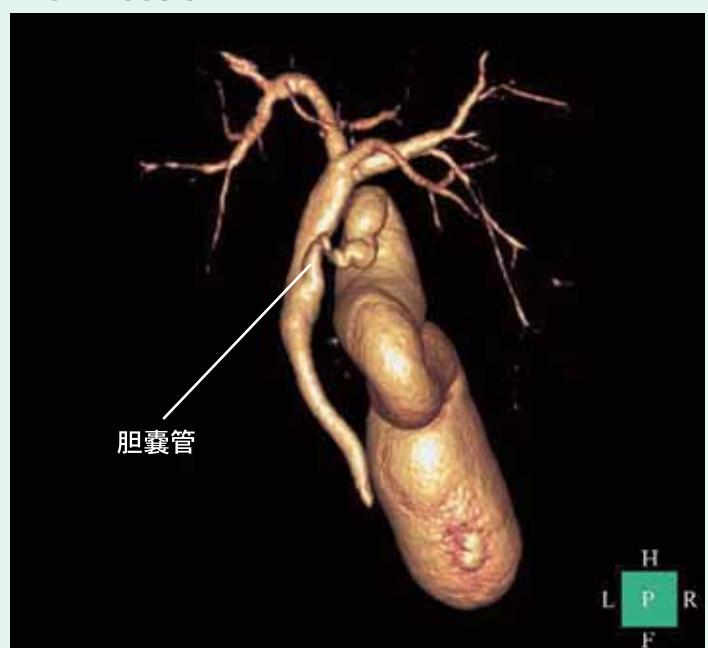
以上、私達の診療内容を簡単にですが、紹介させていただきましたが、検査・診療においては院外の先生方からのご紹介も多数あり、この場をお借りしまして、改めて御礼申し上げます。

胆囊を正面から見たイメージ



胆石症にて腹腔鏡下胆囊摘出術前の3D-CT像

胆囊を背面から見たイメージ



回転させて観察することで手術に必要な胆囊管の合流部が明確に把握できます。

	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
超音波検査	●		●		●		●		●	
消化管造影	●		●		●		●		●	
血管造影(IVR)		●				●				●
上部消化管内視鏡			●				●			
内視鏡治療			●	●			●	●		
大腸内視鏡				●				●		
MRI・CT	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

地域連携小児休日・夜間診療医師の紹介

①出身大学・卒業年 ②医院名

平成16年11月から、当院の夜間小児科診療に長崎県北地区小児科有志の会が参加します。会員は全員、社団法人:日本小児科学会認定小児科専門医です。



七種 啓行 先生

① 日本大学医学部 S46
② さいくさ小児科医院
佐世保市権常寺1-10-8
(0956)39-3193



宮田 進 先生

① 長崎大学医学部 S49
② みやた小児科医院
東彼杵郡川棚町下組347-7
(0956)82-3735



山崎 士郎 先生

① 長崎大学医学部 S54
② やまさきこどもクリニック
佐世保市瀬戸越町1238
(0956)23-8813



志方 出 先生

① 九州大学大学院医学科 S62
② しかた小児科医院
佐世保市赤崎町259
(0956)28-5202



田中 博弥 先生

① 山口大学医学部 S56
② たなかこどもクリニック
佐世保市光月町1-18
(0956)26-4500



山口 浩 先生

① 長崎大学医学部 S63
② やまぐち小児科
北松浦郡佐々町本田原免112-1
(0956)41-1661

新採用医師の紹介

①出身大学・卒業年 ②在籍医局 ③専門領域 ④出身地 ⑤趣味・一言



[麻酔科] 松本 周平

① 長崎大学 H12
② 長崎大学 麻酔科
③ 麻酔管理一般
④ 静岡県
⑤ 「重大な事故のない麻酔管理」を
最低限の目標に頑張ります。



[放射線科] 大磯 陽子

① 久留米大学 H12
② 久留米大学 放射線科
③ 放射線科一般
④ 熊本県
⑤ 3年前に続き、今回2度目の赴任と
なりました。よろしくお願いします。
趣味:テニス



[小児科] 白川 利彦

① 長崎大学 H12
② 長崎大学 小児科
③ 小児科一般
④ 長崎県
⑤ やっと仕事のペースがわかつてきました。頑張ります。



[放射線科] 岩本 良二

① 琉球大学 H12
② 久留米大学 放射線科
③ 画像診断、IVR
④ 福岡県
⑤ 佐世保は初めてですが、街の活気に驚
いています。早く皆様のお役に立てる
よう頑張ります。

職場紹介～駐車場管理～

責任者 久間 和昭

Q 仕事の内容を教えてください。

A 患者さん専用駐車場の整理・誘導・清掃、玄関受付カウンターでの外来割引、入院患者さんのテレビカード精算等の業務を男性5名の交代制で行っています。

Q 気をつけていることは？

A 当院に来院される方に最初にお会いする職場ですので、笑顔で、元気良く、礼儀正しく応対するように心掛けています。

Q 仕事上、苦労していることは？

A 出庫の際、ご精算や割引の件で十分ご理解頂けず手間取ったり、割引を受けて帰る方がいらっしゃいますので心苦しく思っています。



後列中央が久間



Q うれしかったことは？

A 玄関周りで来院された方や退院される方へ車椅子のお手伝いをした時に「ありがとう」と言っていただいた時。本当に良かったと思います。

Q 印象に残っているエピソードなどがあれば教えてください。

A 月に1、2回、駐車中の車のバッテリーがあがることがあり、ブースターコードの用意や車の手配をしてエンジンがかかったときはホッとします。

Q 最後に何か一言お願いします。

A 駐車台数に限りがありますので、朝からかなりの患者さんが駐車待ちで並んでいらっしゃいます。無事故で、できる限りスムーズに駐車していただけるように全員が心掛けてまいります。

(インタビュアー：編集委員 森 博紀)

年末年始の当直体制

休診日	内科系当直	外科系当直
平成16年12月29日(水)	内 科	麻酔科
平成16年12月30日(木)	放射線科	外 科
平成16年12月31日(金)	皮膚科	泌尿器科

休診日	内科系当直	外科系当直
平成17年1月1日(土)	内 科	泌尿器科
平成17年1月2日(日)	皮膚科	整形外科
平成17年1月3日(月)	放射線科	外 科

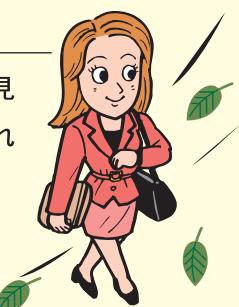
※急患は当直科以外でも対応いたします。

※小児科・産婦人科は連日待機しております。

編集後記

今年の日本は大雪に始まり、かつてない数と規模の台風上陸、新潟県中越地震など多くの自然災害に見舞われ、その恐ろしさを改めて実感しました。しかし、ひとたび表情が変われば自然は私達を癒してくれるものですね。これから寒くなる季節ですが、外に出かけて身近な自然の良さを感じてみようと思います。みなさまもよいお年をお迎え下さい。

編集委員 谷口 友佳子



佐世保共済病院

外来診療担当表

平成16年12月1日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	部長	林田一洋			●		●			●			肝臓・消化器疾患
	医長	福山邦昭	●				●		●				肝臓・胆嚢・脾臓疾患
	"	佐藤浩信			●		●			●			消化器疾患・膠原病
	"	川崎千之	●		●				●				血液疾患
	"	松見里美	●				●			●			消化器疾患
	"	野口誠司			●				●		●		肝臓・胆嚢・脾臓疾患・消化器疾患
	"	金子武生	●				●			●			循環器疾患
	"	藤澤伸光	●				●			●			呼吸器疾患
	医員	大塚容子	●						●		●		腎臓疾患
	"	村上謹士郎			●				●		●		循環器疾患
	"	久間文明			●		●		●				循環器疾患
	"	原口総一郎			●		●						腎臓疾患
	"	松永圭司	●		●				●				消化器疾患
	"	堀内康啓			●				●				呼吸器疾患
	"	山口加奈子	●							●			消化器疾患
	糖尿病教室					●		●		●		●	
小児科	部長	岡尚記	●		●					●			小児一般 小児アレルギー疾患 気管支喘息
	医長	深堀一成	●				●		●				
	医員	白川利彦					●			●			
	"	徳富友紀			●				●				
	乳児健診					●							火曜PM1:00~
	慢性外来・神経外来							●					水曜PM2:00~※神経外来は第2水曜日のみ(要予約)
外科	喘息外来									●			木曜PM2:00~
	外科顧問	松永章							●				内視鏡下外科
	部長	江里口直文	(●)				●			●			※月曜は新患のみ受付
	医長	大堂雅晴			●				●				一般外科・消化器外科
	医員	澤田健太郎	●				●						血管外科
	"	川畑方博			●					●			一般外科・腹部エコー
	"	原田洋			●					●			一般外科・消化器外科
	"	岩熊伸高	●				●						呼吸器外科・乳腺外科
	"	木崎潤也	●										一般外科・消化器外科
	"	衛藤大典						●					一般外科
脳神経外 科	院長	福井仁士	●				●						脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷、脊椎外科 小児の神経外科、顔面痙攣、三叉神経痛の外科手術、顔面痙攣のボリス注入療法
	診療部長	山川勇造							●		●		
	医長	濱田康宏	●						●				
神経内科	医員	黒田智美								●			神経内科疾患一般
整形外科	部長	萩原博嗣	●				●			●			骨関節疾患全般 ・股・膝関節の関節形成術、人工関節置換術 ・膝・肩・手・肘の鏡視下手術 ・脊椎外科、腰部疾患手術 ・肩・手の外科 ・リウマチ、スポーツ整形外科、足の外科など
	医長	久我尚之			●		●		●				
	医員	井手康人	●		●					●			
	"	寺本全男	●						●		●		
	"	宿利知之			●				●		●		
	"	寺原幹雄	●		●		●						
皮膚科	医長	平島徳幸	●	●	●		●		●	●	●		・湿疹、虫刺症、アレルギー性皮膚炎 ・皮膚感染症・爪疾患、毛疾患 ・皮膚小手術(紛糞、陥入爪など)(火・水・金)
	医員	吉岡万智子	●	●	●		●		●	●	●		
泌尿器科	部長	山田潤	●				●			●			尿路結石、尿路腫瘍、前立腺疾患 体外衝撃波結石破碎術(ESWL) 尿失禁、尿路感染
	医長	森光浩	●						●		●		
	医員	今里祐之			●		●						
	"	岩田隆寿			●				●				
産婦人科	副院長	木寺義郎	●				●			●			産科・周産期医療 不妊症・内分泌疾患 体外受精・胚移植術、腹腔鏡下手術 更年期・婦人科疾患
	医長	鶴地伸宏	●		●		●		●				
	"	内山章	●		●		●			●			
	医員	大塚未砂子	●		●				●		●		
	"	新谷可伸			●		●		●		●		
眼科	医長	小西健一	●		●		●	●	●	●	●		白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、眼瞼下垂手術、翼状片手術、レーザー光凝固術など※水曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)
	医員	中森玄司	●		●		●	●	●	●	●		
耳鼻咽喉科	医長	後藤弘毅	●		●		●		●	●	●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療 小児の耳鼻咽喉科疾患 耳・鼻・咽喉頭・甲状腺などの手術
	医員	井口貴史	●	●	●		●		●	●	●		
放射線科	医長	野々下政昭	●						●				MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査 消化管造影、内視鏡検査 内視鏡下手術(ポリープ切除)
	医員	岩本良二									●		
	"	大磯陽子						●					
	"	吉田成吾			●								
麻酔科	医長	深野拓	●				●		●				※月～金午前ペイン外来 ※月～金午後は手術麻酔
	医員	吉村真紀			●						●		
	"	松本周平					●		●				
	"	別府幸岐	●		●						●		
歯科 口腔外科	医長	平木昭光	●	●	●	●	●	●	●	●	●		歯科・口腔外科